

予算特別委員会 設置

第1回(3月) 定例会



平成22年第1回平川市議会定例会は、3月8日から19日までの12日間開催されました。

初日、大川市長より「平成22年度の予算編成にあたっては、合併5年目に入るが、市経済の活性化と市民の皆様方の一体感の醸成を図りながら、長期総合プランが目指す『ひと・地域・産業がきらめくまち』づくりの実現に向けて、農業の所得向上と観光ネットワークづくりの推進、地域活性化へ向けた人づくり対策の推進、働く場所の確保と企業誘致の推進、福祉施設を拡充し、介護による家族の負担軽減等に配慮した。限られた財源の効率的かつ重点的な配分に徹し、市民福祉の向上と市経済の活性化を図るため、誠心誠意努力する所存です。」と、あいさつがあり、議案の総括説明を受けました。

本定例会では、平成22年度予算案を審査するため予算特別委員会が設置され、一般会計を含む28件の予算案が原案可決となりました。条例改正案5件、平川市国土利用計画について1件、市道路の認定について1件、一般会計を含む各会計補正予算案7件の、合わせて44件が原案可決となりました。

初日に、会議録署名議員の指名を行い、会期を3月19日までの12日間と定め、諸報告が行われました。

大川市長のあいさつと提案理由の総括説明の後、平成22年度各会計予算案を審査することを目的とし、議員全員で構成する予算特別委員会が設置されました。議長の名指推選により、委員長には齋藤政子委員、副委員長には成田敏昭委員が当選し、あいさつを述べました。

提出された議案は、総務企画、建設経済、教育民生の各常任委員会にそれぞれ付託となりました。4日目には常任委員会を開催し、5日目と休会をはさんだ8日目には10人の議員が、理事者側に対して一般質問を行いました。9日目から11日目までの3日間は予算特別委員会を開催し、新年度予算の審査を行いました。最終日には、各委員会委員長が報告を行った後、平成22年度一般会計を含む各会計予算案28件



【会期日程】

3月19日(金)	3月18日(木)	3月17日(水)	3月16日(火)	3月15日(月)	3月14日(日)	3月13日(土)	3月12日(金)	3月11日(木)	3月10日(水)	3月9日(火)	3月8日(月)
本会議	予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	一般質問	(休会)	(休会)	一般質問	常任委員会	(議案熟考のため休会)	(議案熟考のため休会)	本会議



条例改正案

●平川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案(平成22年4月1日から施行)

時間外勤務手当の支給割合を改めるとともに、当該時間外勤務手当の一部支給にかえて、正規の時間において勤務することを要しない時間を指定することができることとする。

【本会議質疑】

問 要しない時間とは、どういうものを指すのか。(成田敏昭議員)

答 勤務をしないということである。(総務部長)

●平川市職員の特殊勤務手当条例の一部を改正する条例案(平成22年4月1日から施行)

救急救命措置を行った救急救命士に対し、1回につき500円を超えない範囲で救急業務手当を加算する。

【委員会質疑】

問 当市の救急救命士の人数について。

答 現在11名いるが、そのうち2人が隊長(管理職)なので、現場に出ている職員は9名で活動している。

3年間さかのぼり固定資産税課税免除に!

●平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案(公布の日から施行)
指定企業の要件の改正及び過疎自立促進特別措置法の規定に基づく特別措置に係る固定資産税の課税免除を定める。

【委員会質疑】

問 操業開始1年前の日から起算して3年間に変更する理由について。

答 高度な技術を伴う工場だと操業開始前から従業員を雇うことになり、奨励金を受けることができないうえ、改正し、受けることができるようにするため。

●平川市水洗便所改造貸付金条例の一部を改正する条例案(公布の日から施行)

水洗便所改造貸付金について、処理開始前の公示の日から3年経過しているものに対する利息の特例を定める。

【委員会質疑】
問 水洗化率、くみ取率はどれくらいか。
答 平成21年12月末現在で水洗化率は75%、浄化槽設置率はおおむね10%、くみ取が15%である。

問 今年度の制度利用者について。

答 平成21年12月末現在213件。平成22年度には105件を見込んでいます。

廃止条例案

●平川市小作料協議会条例を廃止する条例案(平成21年4月1日施行)

農地法等の一部を改正する法律が施行され、標準小作料制度が廃止されたことに伴い、本条例を廃止する。

【本会議質疑】

問 農地法等の一部を改正する法律の、改正された部分をお知らせ願う。(齋藤律子議員)

答 小作料等の見直しが行われ、小作料制度が廃止になった。(農業委員会事務局長)

【委員会質疑】

その他

市国土利用計画策定!

●平川市国土利用計画について

昨年度、全国計画及び県計画が改定されたことを受けて、国土利用計画法第8条第3項の規定に基づき、平川市の区域における国土の利用に関する基本的事項を定める。

【本会議質疑】

問 大変大事な計画なので、事前に全員協議会などで説明をしていただきたい。答弁は不用。(齋藤律子議員)

【委員会質疑】

問 「耕作放棄地で、農地への復元が困難な農地は森林に転換する。」とあるが、すべてがこれに

該当するののか。
答 森林に隣接するものなど、農地として条件が悪いのみである。



●市道路認定について

猿賀公民館西側を猿賀遠林3号線道路改良事業として整備することから、新たに市道路線を認定する。

◆路線番号 1395

◆路線名

◆猿賀遠林3号線

◆実延長

174・0メートル

◆幅員

4・5×2・6メートル

◆起点・終点

猿賀遠林55の11・猿賀遠林1の14

【委員会質疑】

問 現在、舗装はされているか。道路側溝が入っているのか。
答 今は舗装もされてお

らず、道路側溝も入っていない。市道に認定後、幅員4メートル、延長11・5メートル、片側に道路側溝を入れる工事を行う。



猿賀遠林3号線

補正予算関係

一般会計補正予算 172億4千330万円に!

一般会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億5414万7000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ172億4333万9000円とする。

概要

歳入 国の2次補正予算に伴う地域活性化・きめ細やかな臨時交付2億3444万2000円が措置された。生活扶助、医療扶助等の生活保護費が増額、子ども手当支給準備のための事務費を市に



子ども手当の手続きはお早めに!

子ども手当の手続きはお早めに!
屋根塗装工事、診療所特別会計繰出金などにより4430万4000円の増額、土木費では、きめ細やかな臨時交付金事業の実施で1億9607万5000円の増額、消防費では消防団車両の購入、屯所改修工事などで5265万5000円の増額、教育費では猿賀小学校給水管改修工事、平賀東中学校グラウンド整備などで1500万2000円の増額など。

屋根塗装工事、診療所特別会計繰出金などにより4430万4000円の増額、土木費では、きめ細やかな臨時交付金事業の実施で1億9607万5000円の増額、消防費では消防団車両の購入、屯所改修工事などで5265万5000円の増額、教育費では猿賀小学校給水管改修工事、平賀東中学校グラウンド整備などで1500万2000円の増額など。

【本会議質疑】

問 健康センターの屋根塗装など非常に高い。もう少し精査が必要ではないか。(齋藤 剛議員)

答 健康センターの屋根塗装など非常に高い。もう少し精査が必要ではないか。(齋藤 剛議員)

問 今までやった工事なども大幅な減額があるの、積算根拠の見直しが必要ではないか。(佐藤 雄議員)

補助することなどにより2億4281万2000円の増額など。
歳出 電算システム構築事業費の精査により1億1000万円の減額、民生費では介護保険特別会計繰出金の増額などにより6860万円の増額、衛生費では健康センター

答 国の工事積算単価表を用いて予算要求、予算査定をしており、根拠のある内容である。落札できないと、工事が実施できないので難しい。関連する課と協議し、より落札額に近い予算案を上げればいいのかどうか検討する。(企画財政部長)

【委員会質疑】

問 財産収入の不動産貸付収入が減額になった理由について。

答 市有地を貸している企業の貸付料を減額したためである。

問 雑入の生活保護費返還金の取り扱いについて。

答 返還金はあったが、すべて納入書による振り込みで、現金での取り扱いはない。

問 生活保護費が増額になった理由について。

答 受給者が増加したこと。12月から母子加算が復活したこと。医療費が伸びたことが主な理由である。



平成11年4月にオープンした健康センター

国民健康保険特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億9211万5000円を追加し、総額を43億5672万3000円とする。

概要

歳入 療養給付費交付金6930万4000円、前期高齢者交付金9402万2000円、共同事業交付金3977万9000円、繰入金5722万円などを追加し、国庫支出金6600万円、県支出金615万3000円を減額する。

歳出 保険給付費1億5196万1000円、諸支出金1億912万4000円などを追加し、共同事業拠出金7019万1000円などを減額する。

問 計画で定めた年度より前に消防自動車を購入する際、消防審議会での審議の必要性について。

答 消防審議会で審議を経て計画書を策定する。

問 旧碓ヶ関関所等解体工事の解体後の状況について。

答 林野庁に土地の返地届を行った。

問 国保介護従事者処遇改善臨時交付金について。

答 介護従事者の処遇の改善を目的としつつ、介護保険分の急激な上昇を抑制するための介護納付金緩和措置として、平成21年度、平成22年度に国から交付されるものである。

老人保健特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ985万6000円を追加し、総額を2089万円とする。

概要

歳入 繰入金883万1000円、諸収入102万5000円を追加する。

歳出 諸支出金985万6000円を追加する。

【本会議質疑】

問 諸収入の内容について。（成田 敏昭議員）

答 県の個別指導や再審査請求により、診療報酬が減額になったので、市に返還金として入るものである。（市民生活部長）

介護保険特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ9601万7000円を追加し、総額を29億8517万9000円とする。

概要

歳入 保険給付費の追加に対する負担分などで国庫支出金ほか9134万4000円を追加し、保険料532万7000円を減額する。また、財源が不足するため財政安定化基金貸付金を受けるため、

市債1000万円を追加する。

歳出 保険給付費を9607万6000円追加する。

【委員会質疑】

問 特別徴収保険料の減額について。

答 当初予算より被保険者数が少なく、保険料段階区分の4段階以上の人が少ないことが減額の理由である。

後期高齢者医療特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ145万6000円を追加し、総額を2億3987万1000円とする。

概要

歳入 一般会計繰入金145万6000円追加する。

歳出 後期高齢者医療広域連合負担金145万6000円を追加する。

【委員会質疑】

問 2年ごとに見直すことになっている保険料等について。

答 保険料については、現行制度廃止までの間、高齢者の方々に不安や混乱が生じないように、可能

な限り保険料の上昇を抑制すると国の方針が出されている。また、広域連合でも国と同調し、余剰金の全額活用、財政安定化基金の取り崩しにより、平成22年度、平成23年度は現行の保険料率を維持することが広域連合議会で議決されている。

今後は、高齢者医療制度改革会議の中で、新しい制度のあり方を議論していく方向である。



診療所特別会計

予算の総額から、歳入歳出それぞれ306万4000円を減額し、総額3億7577万2000円とする。

概要

歳入 診療報酬を2543万7000円、負担金294万9000円、市債を20万円の減額し、繰入金

2497万2000円と諸収入を55万円追加する。

歳出 総務管理費387万8000円を減額し、医療費81万4000円を追加する。

【委員会質疑】

問 診療報酬に対する医療費の割合が50%を超えると言われている中、85%に達している。年々ふえていることについての考え方について。

答 平川診療所は慢性疾患の患者が多く、診療報酬の増にはつながらない。医療機器をできるだけ活用して1人当たりの診療単価をふやしていきたい。

問 薬品の購入については、どのような方法をとっているか。

答 現在取り引きしている業者で見積もり合わせを行っている。

下水道事業会計

概要

○資本的収入及び支出
収入 公共下水道事業の企業債940万円を減額し、各事業の一般会計出資金の精査により、合わせて

1億304万円を減額する。
○収益的収入及び支出
収入 一般会計の繰出基準の精査により、各事業合わせて1億461万7000円を増額。
支出 公共下水道事業の修繕費273万円を減額する。

陳情書

（配布）

●最低賃金の抜本的改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める陳情書
低すぎる最低賃金を大幅に引き上げ、働く貧困層をなくすため、国に対して意見書を提出していただきたい。



議会を傍聴してみませんか

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます

詳しくは議会事務局まで 電話 (0172) 44-1111 (内線1511)

平成22年度 第1回定例会

議 決 一 覧 表

議案 番号	議案名	本会議		常任委員会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
【条例案・条例改正案】						
5	平川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
6	平川市職員の特殊勤務手当例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
7	平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
8	平川市水洗便所改造貸付金条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
9	平川市小作料協議会条例を廃止する条例案	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
【その他】						
10	平川市国土利用計画について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
11	市道路の認定について	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
【予算案】						
12	平成22年度平川市一般会計予算案	原案可決	起立多数	予算特別	原案可決	起立多数
13	平成22年度平川市国民健康保険特別会計予算案	原案可決	起立多数	予算特別	原案可決	起立多数
14	平成22年度平川市老人保健特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
15	平成22年度平川市介護保険特別会計予算案	原案可決	起立多数	予算特別	原案可決	起立多数
16	平成22年度平川市後期高齢者医療特別会計予算案	原案可決	起立多数	予算特別	原案可決	起立多数
17	平成22年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
18	平成22年度平川市学校給食センター特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
19	平成22年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
20	平成22年度平川市簡易水道特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
21	平成22年度平川市水道事業会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
22	平成22年度平川市下水道事業会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
23	平成22年度平川市広船財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
24	平成22年度平川市小和森財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
25	平成22年度平川市荒田財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
26	平成22年度平川市大坊財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
27	平成22年度平川市石郷財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
28	平成22年度平川市館田財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
29	平成22年度平川市柏木町財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
30	平成22年度平川市大字大光寺財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
31	平成22年度平川市平田森財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
32	平成22年度平川市新尾崎財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
33	平成22年度平川市新館財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
34	平成22年度平川市沖館財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
35	平成22年度平川市葛川財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
36	平成22年度平川市吹上・高畑財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
37	平成22年度平川市原田財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
38	平成22年度平川市岩館財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
39	平成22年度平川市碓ヶ関財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
【補正予算案】						
40	平成21年度平川市一般会計補正予算案（第6号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
41	平成21年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第4号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
42	平成21年度平川市老人保健特別会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
43	平成21年度平川市介護保険特別会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
44	平成21年度平川市後期高齢者医療特別会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
45	平成21年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
46	平成21年度平川市下水道事業会計補正予算案（第4号）	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
47	平成21年度平川市広船財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
48	平成21年度平川市碓ヶ関財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致

平成22年度一般会計予算

総額154億6千万円に



特別委員長

委員長
まさこ 政子
さいとう 齋藤

問 今までやってきた雇用の推進対策の経過はどうなっているか。
答 平川市で緊急雇用奨励金を始め、予

問 地方交付税が2億円の伸びであるが、その内容について。

歳入全般

質疑

答 現政権では、平成21年度と比較すると地方交付税がふえている。算定基準では雇用創出推進費と地方再生対策費という2つの項目が設けられ、この需要がふえるだろうという計算根拠の中での増額となっている。

一般会計

予算特別委員会は、3月16日、17日、18日の3日間にわたり、一般会計を含む特別会計、企業会計28会計の平成22年度当初予算案について、委員長には齋藤政子委員長、副委員長には成田敏昭委員長が選任され、各委員から活発な質問が行われました。一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者特別会計については賛成多数で、その他予算案については、全会一致で可決されました。

※質疑等は、要約して掲載しています。

問 保育料滞納繰越額は幾らになるのか。
答 平成19年度分の保育料未納が654万9000円、滞納額に対しての未納率が3.4%。平成20年度決算

算措置をしたものの十分な支出がなかった。できるだけ雇用をしてほしいので、平成22年度も平成21年度以上の雇用対策の予算措置をしているという状況である。
問 教育使用料の減額理由について。
答 本年度から、体育館（平賀総合運動施設）屋内温水プールが指定管理制度に移行了ので、歳入は市の歳入ではなく指定管理者の収入になるため、今回大幅な減額となった。

平成22年度 一般会計当初予算

【歳入】	(単位：千円、%)			
	本年度予算額	構成比	前年度予算額	比較
市税	2,227,870	14.4	2,230,149	△ 2,279 △ 0.1
地方譲与税	215,000	1.4	251,000	△ 36,000 △ 14.3
利子割交付金	8,000	0.1	8,000	0 0.0
配当割交付金	300	0.0	1,700	△ 1,400 △ 82.4
株式等譲渡所得割交付金	200	0.0	400	△ 200 △ 50.0
地方消費税交付金	243,000	1.6	300,000	△ 57,000 △ 19.0
ゴルフ場利用税交付金	13,000	0.1	13,000	0 0.0
自動車取得税交付金	48,000	0.3	56,000	△ 8,000 △ 14.3
地方特例交付金	45,000	0.3	27,508	17,492 63.6
地方交付税	7,800,000	50.4	7,600,000	200,000 2.6
交通安全対策特別交付金	5,500	0.0	5,500	0 0.0
分担金及び負担金	209,028	1.4	208,699	329 0.2
使用料及び手数料	125,980	0.8	138,996	△ 13,016 △ 9.4
国庫支出金	1,761,621	11.4	1,341,359	420,262 31.3
県支出金	1,348,081	8.7	963,434	384,647 39.9
財産収入	35,042	0.2	45,627	△ 10,585 △ 23.2
寄付金	2	0.0	2	0 0.0
繰入金	317,512	2.1	549,494	△ 231,982 △ 42.2
繰越金	1	0.0	1	0 0.0
諸収入	425,163	2.7	185,500	239,663 129.2
市債	631,700	4.1	953,631	△ 321,931 △ 33.8
歳入合計	15,460,000	100.0	14,880,000	580,000 3.9

【歳出】	(単位：千円、%)			
	本年度予算額	構成比	前年度予算額	比較
議会費	175,490	1.1	173,368	2,122 1.2
総務費	2,000,565	12.9	2,048,033	△ 47,468 △ 2.3
民生費	5,032,211	32.6	4,281,608	750,603 17.5
衛生費	942,753	6.1	976,570	△ 33,817 △ 3.5
労働費	141,262	0.9	31,489	109,773 348.6
農林水産業費	783,998	5.1	715,172	68,826 9.6
商工費	452,775	2.9	257,745	195,030 75.7
土木費	1,277,799	8.3	1,336,394	△ 58,595 △ 4.4
消防費	688,414	4.4	708,211	△ 19,797 △ 2.8
教育費	1,192,542	7.7	1,180,941	11,601 1.0
災害復旧費	26,903	0.2	27,023	△ 120 △ 0.4
公債費	2,685,288	17.4	3,083,446	△ 398,158 △ 12.9
予備費	60,000	0.4	60,000	0 0.0
歳出合計	15,460,000	100.0	14,880,000	580,000 3.9

※構成比は、四捨五入のため積算が一致しない場合がある。



副委員長 成田 昭敏

ジをつくり直す。

問 地域コミュニティ育成事業の内容について。

答 平成21年度はコミュニティ推進補助金という名称で、町会のコミュニティ活

では未納額624万9000円、調定額に対しての未納率は3.0%となっている。平成22年度当初としては、滞納額は1769万1000円となっている。

問 国庫支出金の介護・訓練等給付費の増額について。

答 給付対象者が若干ふえたことや、給付単価の改正により歳出がふえたこと等により、国庫負担金がふえたものである。

総務費

問 新ホームページ作成委託料の内容について。

答 今までのホームページが全体的にわかりづらく、各課の情報が少ないので、新しくホームページ

は未定だが、国が措置するという通知はきている。

問 介護基盤緊急整備特別対策事業補助金2190万円の事業者の選定方法と施設の開所時期は。

答 平成22年度予算であるため、平成22年度中に整備していきたい。市長と協議しながら、選定方法等を協議していくが、今のところ決めていない。議会終了後詰めていきたい。

衛生費

問 自殺対策緊急強化事業はどのような対策をしているのか。

答 基本的には、各町会に出向いて、心の相談などの講座を年に何回か開催し、また普及啓発用のパンフレットを配布している。人材育成というところで、専門の先生を招いて自殺対策支援職員研修を予定している。

問 有料化によるごみの委託料の状況。

答 昨年の広報ひらかわ11月号で、平成19年度から平成20年度にかけて可燃ごみは25%減になって

いる。平成21年度も平成20年度と比較すれば変わりないと見込んでいる。

労働費

問 ふるさと雇用再生特別交付金事業委託料とは。

答 全額を国が出すものであり、地域の実情や創意工夫によって、求職者の雇用機会を創出する取り組みに対し支援する事業である。非営利事業4事業に対して、3年間雇用し、4年目からは正規雇用をしてもらう事業である。平成21年度から平成23年度まで事業展開をする予定。

問 緊急雇用奨励金の内容について。

答 非常に今の雇用情勢が厳しいので、月の給与の3分の2で10万円を限度にして6カ月間奨励金を助成するので、平川市民の新規雇用を市内企業にしていたたく事業である。

問 学卒者時雇用奨励金の内容について。

答 管内の就職内定率が低いいため、5人以上の企

業に対し、新規学卒者について、半年間の社会人教育及び社会人体験の機会をつくってもらうための事業で、35人分を計上している。

農林水産費

問 ツルワレりんご対策栽培管理委託料はどのような形で行うのか。

答 展示圃を設置し、つる割れをどのようにして防ぐか実証する。5カ所の展示圃を設置し、栽培や記帳手当を、取り組んでみたい認定農業者に委託する。

問 特産フルーツ応援事業補助金にはどのような品目が対象なのか。

答 果樹経営の安定を促進するための事業で、ブドウ、モモ、ナシの苗木への助成を考えている。

問 耕作放棄地解消事業補助金の内容について。

答 土地の解消面積10ヘクタールに対して、10アール当たり4万円を支給する。

問 新規事業のマイロード・マイタウン整備事業補助金(土木費にも計上)

の内容について。

答 現在の案は1地区100万円を上限として5町会で100万円、10町会では50万円と見込んでいる。各町会で、原材料等の支給を受け、機械を借り上げしたりして、町会で農道等の整備をしたい場合、集落の方や関係者が力を出し合っ行うものに見える補助金である。

商工観光費

問 観光振興事業の補助金はどのような事業があるのか。

答 観光協会補助金(おのえ花と植木まつり、志賀坊山野草まつり、観光キャンペーン、道の駅収穫祭、北限に観る蓮の花まつり)378万円。櫻田誠一杯が終了したので、新たに歌謡文化の祭りを民間主体で行う歌謡フェスティバルが125万円、碓ヶ関御園所まつり100万円である。



予算特別委員会 設置

土木費

問 住宅造成事業の目的と件数について。

答 当初計画していた優良田園住宅は、用地の確保ができず、制度が使えないことになったため、制度に乗せる必要はないが、町会の景観との調和を考え、田園住宅風として、事業を縮小し5区画とした。遊休化した市有地（元学校農園）を私有地にすることで、固定資産税による財政効果も期待できる。

消防費

問 防災情報システムの共同研究の実証実験をN T Tのみで行ったが、N T Tに限定するのは。

答 取り組みやすいという利点から、N T Tで実験をした。全部の機種に対応できるかどうか、実証実験を踏まえて報告書ができるので、トータル的に市の方で判断していきたい。

問 自動車免許は、個人的に取るものだと思う

が、中型自動車免許取得委託料は、だれに委託するのか。

答 消防関係の車両には8トン以上の中型免許が必要な車が3台ある。行政目的のために職員に運転免許を取得させるには、市で負担すべきだという指導されているので、3人分の委託料を計上している。

教育費

問 教育相談・訪問指導員の報酬の目的と役割は何か。

答 小中学校で、クラスになじめない子供、不登校の子供等が各学校に若干いる。教育相談員という形で直接学校から話を伺いながら、児童・保護者等の訪問をし、今後の対応策、学校に行けるような環境づくりのための指導を行っている。

問 滞納繰越分普通徴収保険料の状況について。

答 平成21年度1月末現在で平成17年度からのトータルで401人、1213万721円という状況である。

問 国内交流事業補助金の今年の計画について。

答 当市と盟約を結んでいる南九州市と、中学生の交流を行っている。子供が10名、引率者2名で、今年も同様に、参加者から負担をもらいながら、4泊5日で南九州市へホームステイし、12月にはこちらに受け入れして交流したいと考えている。

反対討論

齋藤 律子 議員

市が掲げる基本理念に大きくかわる住宅建設事業は、もっと練り上げが必要だ。自衛隊音楽隊演奏会補助金など、賛否両論のある事業に対する予算計上は、いくらすばらしいものであっても検討する余地があること等から反対する。

賛成討論

工藤 竹雄 議員

財政の健全運用を基本理念としながら、長期総合プランを推進するため、住民の要望にこたえ

国民健康保険 特別会計

生活の安定、福祉の充実を図り、生活優先等、創意と工夫が見られる。雇用・経済対策を主要事業とした積極的な意欲が伺われる。

質疑

問 国保加入世帯5543世帯で短期被保険証の

世帯、資格証明書発行世帯、現年分の滞納額をお知らせ願う。

答 2月末現在において短期被保険証は488世帯（うち資格証明書にあたるのは31世帯）。これから出納閉鎖期間まで努力するが、現在のところ986世帯で滞納額が1億8400万円である。

問 後期高齢者支援等費について。

答 後期高齢者医療制度

平成22年度 各種会計当初予算

会計名		予算額			
特別会計	国民健康保険	42億	632万	7千円	
	老人保健		155万	9千円	
	介護保険	28億	5,689万	8千円	
	後期高齢者医療	2億	4,972万	5千円	
	診療所	3億	7,506万	1千円	
	学校給食センター	3億	8,688万	8千円	
	尾上地区住宅団地温泉事業		1,062万	4千円	
	簡易水道		1,984万	1千円	
企業会計	水道事業	事業収益	5億	2,985万	8千円
		事業費用	4億	9,239万	7千円
		資本的収入		2,621万	5千円
		資本的支出	3億	1,355万	9千円
	下水道事業	事業収益	8億	4,095万	1千円
		事業費用	9億	5,387万	0千円
		資本的収入	5億	343万	4千円
		資本的支出	7億	4,864万	1千円

に対して、ゼロ歳から74歳の世代で支援するといことで支出する分が5億5000万円。そのうち国の分として、34%の定率で1億8700万円が歳入として入ってくる。

反対討論

齋藤 律子 議員

厳しい予算状況でありながら税率を据え置き予算を立てたとしているが、それをよしとはできない。命を守るべき医療保険の負担が重すぎる国ではあつてはならない。社会保障の充実、拡充を願って反対する。

賛成討論

佐藤 雄 議員

審査の中で、現年度課税徴収分の徴収率について自信をのぞかせており、前年度トータル以上の徴収率を期待し、これ以上不納欠損額が大きくなるらないよう努力をするようお願いして賛成するものである。

介護保険特別会計

質疑

問 地域密着型の2施設を新設することによって保険料はどうなるのか。

答 介護保険の制度自体3年間保険料は一定である。平成23年度に入ってから、平成21〜23年度の3カ年度での給付の伸びている傾向や、介護施設自体がいつ供用になるのかという部分を含めて平成24年度以降の算定になる。

問 供用開始はいつごろになるのか。

答 できれば平成22年度で施設整備を終えて、4月から新しく入居できる方が利用できればと思っている。

反対討論

齋藤 律子 議員

年金額の低い普通徴収の滞納が多く、また40歳から64歳までの第2号保険料率が平成22年4月分から大幅に引き上げられ見通しである。社会保障

切り下げの政治の修復がない限り、平等で安心して介護を受けられる制度にはならない。

賛成討論

佐々木 利正 議員

適切な介護サービス給付費が盛り込まれ、第4期介護保険計画、高齢者保健福祉計画に基づいた予算である。

賛成討論

佐藤 雄 議員

介護保険アンケート調査で「給付されるサービスを多少抑えても、保険料は少ない方がよい」というのが44.7%である。支える側の負担を抑止するよう努力を希望し、賛成する。

後期高齢者医療特別会計

反対討論

齋藤 律子 議員

現政権では、廃止を明言したが4年後に先送りしている。青森県の広域連合は保険料の上昇を抑制するため余剰金や安定化基金で対応するとしているが、到底負担軽減になるものではなく、この制度の温存が、ますます高齢者の医療に対する不安をつのらせるものであるため、賛成を見送る。

賛成討論

工藤 竹雄 議員

今回の予算は、後期高齢者医療制度の財政基盤強化と被保険者の保険料の負担緩和である。国の施策であり、独立採算制を原則とする予算上、やむを得ない計上額である。

診療所特別会計

問 医療機器の更新とは。

答 薬局の機器で自動分割封機一式を購入した。

問 一般会計からの繰入金が3分の1以上となっているが、繰出基準はなののか。

答 病院事業であれば、地方公営企業法によって繰出基準があるが、特別会計は明確な基準というものはない。歳入歳出を照らし合わせ、足りない分を繰り入れしてもらっている。

問 10年ぶりの診療報酬のプラス改定は予算に反映されているのか。

答 診療単価を上げる等の予算計上はしていない。影響はごくわずかであるという認識である。

学校給食センター特別会計

質疑

問 米飯給食に要する費用、数量について。

答 昨年から尾上学校給食センターも平賀から配送している。平成20年度

は2万7790キログラムで平成21年度は3万8780キログラムで、米の単価は1キロ307円というところで、津軽みらい農協と契約している。

問 平賀・尾上両給食センターの予算が一本化されたが、メニューは統一されるのか。

答 電気とガスという形でシステムの違いがあるので、食材はある程度統一できるが、メニューの統一は難しい。

下水道事業会計

質疑

問 平成22年度の下水道事業の見込み戸数はどのくらいか。

答 公共下水道事業180戸、特定環境保全公共下水道事業22戸、農業集落排水事業41戸の増加戸数を見ている。市全体の排水戸数の増加を24戸見込んでいる。水洗化率は77.7%で、前年度から約2.5%の上昇率を見込んでいる。





平成22年第1回（3月）定例会 一般質問傍聴席

市政に関する一般質問より

●3月定例会では、12日(金)と15日(月)の2日間にわたり、10人の議員により一般質問が行われました。
 ●ここでは質問及び答弁の内容を要約して掲載しております。

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問を行い、定例会ごとに行われます。
 議案の質疑とは別に通告が必要です。当市は、通告の受付順に一般質問を行っています。

1. 古川 敏夫 議員

〔二括質問方式〕

1. 福祉行政（取り組み）について
2. 地域活性化事業について

2. 山田 尚人 議員

〔二問一答方式〕

1. 平川市納税貯蓄組合補助金交付について

3. 大川 登 議員

〔二括質問方式〕

1. 福祉施設の拡充について
2. 第2次総合運動施設計画について

4. 佐々木 利正 議員

〔二問一答方式〕

1. 頭脳を鍛える教育について
2. 心と体を鍛える教育について
3. 高齢者と弱い人への温かい行政の推進について

5. 工藤 竹雄 議員

〔二括質問方式〕

1. 公約の基本理念について
2. 交通安全対策（路側帯、外側線）の整備、補修について

6. 小野 長道 議員

〔二問一答方式〕

1. 稲わらすき込み秋耕起支援事業と環境について

2. 農村環境（金屋く高賀野通り用排水路と側溝）整備について

7. 今井 章也 議員

〔二問一答方式〕

1. 市長の公約と政治姿勢について
2. 高齢者と弱者の福祉施設の拡充について

8. 福士 恵美子 議員

〔二括質問方式〕

1. 市長の公約について
2. 人事異動について
3. 教育問題について
4. 男女共同参画について

9. 齋藤 剛 議員

〔二括質問方式〕

1. 2008年の消防自動車衝突事故について
2. 旧平川病院の建物と土地について

10. 齋藤 律子 議員

〔二問一答方式〕

1. 観光（グリーン・ツーリズム、東北新幹線）について
2. 介護緊急整備特別対策事業について
3. 生活保護行政の状況について
4. 乳幼児医療の現物支給について

福祉行政は、厳しい経済状況の中で大変だが、市民のため最大効果を！

○福祉行政の取り組み ○地域活性化事業（プレミアム付商品券発行事業、うめくどinひらかわ食と産業まつり、市有バスの活用）



古川 敏夫 議員

福祉施設の充実・拡充と介護負担軽減について

古川 市長の公約の一つであるが、問題が山積している今日、どのような方針で取り組むのか。
市長 国の臨時特例交付金を受け、県が実施する介護基盤緊急整備等特別

対策事業で施設を整備することとしている。今後福祉施策については、すべての市民が生き生きとした生活が送れるように、可能なかぎり着実に進めていきたい。

プレミアム付商品券発行事業の継続

古川 今年3商工会合併記念で、プレミアムが特別に15%であるが、来年度以降も10%でよいので、継続してほしいが、考えを伺う。

市長 昨年9月議会で前市長も答弁しているとおろ、平成23年度については、経済状況を見ながら検討してまいる。

うめくどinひらかわ食と産業まつり

古川 市内3商工会青年部が主催者で、ひらかわドームで開催し



昨年ひらかわドームで行われた「うめくどinひらかわ食と産業まつり」

た第1回「うめくどinひらかわ食と産業まつり」は、県内外からの来場者が多数あり、元氣な平川市をPRできた。このイベントを継続することにより、市内物産業者の販売意欲の向上を図ることができ、市内産業の活性化も期待できる。今までもイベントの継続を希望してきたが、市長の考えについて。

市長 平成22年度予算に100万円計上している。市でも協力していきたい。地域活性化のために、継続していただきたいと思っている。

市有バスの活用

古川 イベント時に碓ヶ関地域の方に市有バスを無料で活用できないか。

市長 白岩まつり、ねぶたまつりなどで行っているの、そのような形でできればやりたいと思っている。

納税貯蓄組合との話し合いが整った段階で補助金交付の変更をすべき！

○平川市納税貯蓄組合補助金



山田 尚人 議員

市納税組合補助金交付について

山田 合併時と現在の①納税組合数、組合員数（加入世帯、組合組織率、②現在までの補助金の交付率について。

市長 ①合併時135組合、組合員数4580世帯、加入率42・1%。平成21年度の組合数117組合、組合員数3737世帯、加入率33・8%である。合併時と比較すると18組合の減、組合員数843世帯

の減となっている。②組合員数割の組合員1世帯につき150円と、納期限内完納100分の1の補助率である。

山田 平成22年度から実施される補助金の申請方法と交付の変更点を説明せよ。

市長 事務費補助金とするため、市が定めた様式で作成した組合の収支決算書及び領収書の写しが必要となる。

山田 今までは、組合の裁量によって予算が執行されていたが、支出の部分で補助対象経費と補助対象外にわけられるのか。

市長 認められる経費と認められない経費があり、領収書の写し等により確認審査し、補助金の適正交付を行う必要がある。他の補助金の実績報告と同様に関係書類の提出を求めるものである。

山田 納税組合の



平成22年度 市民税・市民税納税通知書は6月に発送されました。

補助金交付の方法が必要となった理由について。

企画財政部長 現在の補助金の方法が納税貯蓄組合法に照らし合わせると非常に問題があり、合併時の協議から、是正が必要なる事項であった。急には対応できないだろうというところで、今ある制度をうまく使い、補助金の額を保ちながら合法的な手段にするための協議をしてきた。できるだけ早い時期ということで平成22年度から実施することとなった。

山田 組合の組織率が低下してきたことに、何か手だてを講じたのか。

企画財政部長 解散については、集金人の確保が難しいことや、プライバシーの問題等から、いたし方ない部分もある。高齢者の皆さんが、毎回納付書を持って金融機関に行く不便を是正するために、口座振替制度の利用をお願いする活動をしようと思っている。

第2次総合運動施設計画の見通しを説明せよ！

○福祉施設の拡充 ○第2次総合運動施設計画



大川 登 議員

福祉施設拡充についての基本姿勢

大川 市長は、福祉施設の拡充をし、在宅介護の解消を目指すという公約を掲げたが、基本的な姿勢をお知らせ願う。

市長 施設入所の介護を受けるべきである高齢者を家族で支えていくことには、大変苦勞が伴う。公的な保険制度としての役割を果たすには待機者

を解消し、家族の負担を軽減していかなければならないので、施設整備を進めていきたい。

を解消し、家族の負担を軽減していかなければならないので、施設整備を進めていきたい。

大川 福祉施設をふやすことと介護保険料の関係をお知らせ願う。

市民生活部長 前提として29床の小規模養護老人ホームが2カ所である。試算によると、特例交付金で補てんがあるが、4号保険者は、2施設を稼動した場合月額189円ふえる見込みである。

大川 平成20年9月議会の質問の回答では、平成22年度実施設計、平成23年度で工事を完了する予定であったが、今年度も何もしないまま終わろうとしている。どういった状況で、今後の見通しはど

うなっているのか。

市長 市全体を考えた将来的、全般的な施設整備が必要なことから、市内の運動施設の今後の活用を含め、市全体の運動施設整備計画の策定に取り組みことにした。庁内の関係課職員での検討委員会を立ち上げ整備計画の検討を進めたい。

大川 結果的に変えるようだが、議会に対して説明すべきではないのか。

教育委員会事務局長 平成20年の経済危機から大きく状況が変わり、市内の経済情勢も厳しく、財政的な面などからも、協議・検討する時間が多く必要となったことで報告が遅れてしまった。計画までの進捗状況や検討課題について、何らかの形で議会に報告していきたいと思う。今後ともさまざまな問題から、調査研究がまだまだ必要なため、事業の進捗についてのタイムスケジュールは若干狂うということである。

連携・協力して、効果的に小学校英語活動を！

○頭脳を鍛える教育(英語の授業) ○心と体を鍛える教育(部活動の予算) ○温かい行政の推進(1時間圏内の救急医療体制の確立)



佐々木 利正 議員

小学校の英語活動について

佐々木 今年度は移行期間の初年度であるが、今後どう進めていくのか。

教育長 各小学校が積極的に取り組んでくれた。小和森小学校では文部科学省の外国語活動実践研究事業の指定校となり、9月に研究成果を発表した。市内小中学校の英語の先生にも参加していた

だき、研究成果を共有してもらい、中学校の先生と連絡をとりながら、小

中一貫の指導を高めたい。

佐々木 平川市独自の部分でもいいし、近隣自治体のよい部分について交流を図ったり、効果的に進めていただきたい。

部活動にかかる経費を予算化できないか

佐々木 今年から高校入試に部活動の成績が点数化され、合否に大きく影響する部分ができていく。心と体を鍛え、一生懸命頑張っている部活動にかかる経費を予算化できないか。

教育長 市が行う援助については、かなり複雑な問題が出てくる。今最大限行っているのは、約40万円(予算)の遠征費の援助である。部活動を一律にして援助することは、なかなか面倒な議論となる。

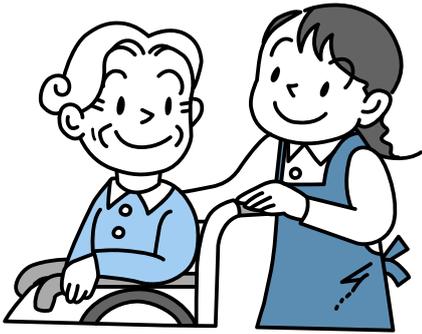
佐々木 補助金となれば明確な基準が必要となる。教育振興費の枠の中で学校の裁量に任せるような形で盛り込むことはできないか。

教育長 今の教育委員会段階として、全部面倒を見るという結論には達せない。学校の裁量で何かやる方向を、これから少し考えていかなければいけないのかなとは感じる。

救急医療体制について

佐々木 公約に掲げた「医療のネットづくりによる、1時間圏以内の救急医療体制の確立を目指す」の意味は。

市長 一番遠い東部地区は、現在1時間以上の搬送時間を要しているが、平成24年度末で消防の広域化が予定されていることから黒石地区消防事務組合消防本部の山形分署からの出動が可能となるので、「1時間以内」が実現されると考えている。大木平集落は特別な地理に位置しており、重症患者に限定されるが、ドクターヘリ及び県の防災ヘリコプターで対応することにより可能になると考えている。



5月の「広報ひらかわ」で、平川市指定地域密着型サービス事業者を募集しました。

5月の「広報ひらかわ」で、平川市指定地域密着型サービス事業者を募集しました。

5月の「広報ひらかわ」で、平川市指定地域密着型サービス事業者を募集しました。



特に運動部に入っていると、経費はかなりかかります。

特に運動部に入っていると、経費はかなりかかります。

特に運動部に入っていると、経費はかなりかかります。

これからは市長の力量が求められる。みんなで努力を！

○公約の基本理念○交通安全対策（路側帯、外側帯）



工藤 竹雄 議員

公約の基本理念について

工藤 ①「市民と創る平川市」とする柱を掲げているが、この大きな重点施策を実現するために「市民本位・清潔・公正」を掲げているが、不運転の決意を伺う。②訓示内容について、市長の責任と信賞必罰の見解について。③職員からの電子メールとの因果関係は発生するののか。

市長 ①合併後、最初の議長も務めさせていただき、合併すれば今より必ずよくなるかと市民の皆様にも訴えてきた。しかし、時代もさまざま変化し、現在「合併してもよいことがあまりない」という

声が非常に多く聞かれる。そのような中で、合併検証委員会を設置し、合併してよかつたところ、手を差し延べていかなければならないところを検証し、予算に反映させていきたいと考えている。②

功績があれば必ず賞を与え、罪があれば必ず罰すること。賞罰のけじめを厳正にし、確実に行うことと考える。職員には、皆さんの仕事に対しては、私が全責任を負うので、市民の幸せのために、精いっぱい頑張っていただきたい。」と訓示をした。

③以前からシステムとしてよくできていたが、活用していなかった。人事評価に反映させる考えはない。

交通安全対策について

工藤 歩道のない車道を通行し、歩行者は、特に登下校時は危険ではないか。

市長 事故防止のための道路環境整備として道路反射鏡の整備、視線誘導標、ガードレール、区画線の整備を実施している。外側線の整備として、平成20年度に小和森から尾上間、旧つがる農産物加工センターから尾上総合高校前まで、歩道がない場合に限り、線の外側は、路側帯と見なされる部分を兼ねた形で整備した。平成22年度も200万円、約3200メートルを予定しており、現場調査をし、緊急性のある箇所から整備・補修をしたいと考えている。



平成20年度に整備された外側線

平成22年度も200万円、約3200メートルを予定しており、現場調査をし、緊急性のある箇所から整備・補修をしたいと考えている。

稲わらすき込みだけでなく稲わら収集の助成も検討を！

○稲わらすき込み秋耕起支援事業と環境○農村環境整備



小野 長道 議員

稲わらすき込み秋耕起支援事業と環境について

小野 稲刈り後の、稲わらのすき込みについて秋耕起の助成だけでなく、わら収集についても助成すべきではないか。わら焼き防止・公害発生防止につながる環境もよくなると思うが考え方を問う。

止と、稲わら有効活用による地力増進を目的として、予算案を提案している。県の補助事業により、過去2年間でロールベアラーを5台導入し、平成22年度も1台の導入を計画している。そのほか、わら焼きシャットアウトサポート事業という、県の補助事業を活用しながら、わら焼き防止に努めている。稲わら収集に対する助成については、検討させていただきたい。

小野 生産組織の機械に助成しているが、利用希望者全員が利用できる。私も経験があるが、長年すき込むと、わらの

市長 平成22年度の新規事業として、わら焼き防

発酵ガスが発生し稲が死ぬところもある。秋耕起と一緒に、稲わら収集も前向きに検討を願う。

金屋から黒石高賀野線に向かう用水路側溝整備

小野 農業用の用排水路になっているが、くずれたり、割れたりして地域の方が木で押さえて我慢している。また、尾上く黒石のバス路線でもあり、大型バスが通ると、人は大変危険な状態となっているが、整備についての考え方を伺う。



市長 側溝整備の要望は、毎年多くの町会からいただいている。現場調査をして損傷箇所は早急に補修し、緊急性・公平性を考慮し、長期総合プランで財政調整を図りながら取り組んでいる。国の経済危機対策・きめ細かな臨時対策交付金事業の中で、市自体の予算状況を見極めながら、長期総合プランで検討させていただきたい。

できるだけ早く施設整備事業に取り組みべき！

○市長の公約と政治姿勢○福祉施設の充実



今井 章也 議員

活気ある平川市をつくるには

今井 市長の公約と政治姿勢について、活気ある平川市をつくるには、どのような方法を考えているのか。

市長 グリーン・ツーリズムの推進による観光ネットワークづくりや全域

からの人材発掘による地域発展。今ある企業を生かした働く場所の確保



2月27日に東京都内のスーパーマーケットで行われたリンゴのトップセールス

農業所得向上のため、農業関連団体との強調による農産物の高付加価値を推進するとともに、トップセールスを実施する。そういつた宣伝をしないと、リンゴや米などの販売は伸びない。特に1次産業を主にして進めていかなければならないだろうと考えている。また、インターネットサイトをつくり直し、全国に発信して所得を上げていきたいと考えている。

高齢者と弱者の福祉施設の拡充について

今井 ①今回、小規模施設

設2カ所の設置ということで、予算計上をしているが、運営母体は社会福祉法人でなければならぬのか。②2カ所設置しても、待機者がいれば入所できないことについての見解を伺う。

市長 ①社会福祉施設を設置できる事業者は、老人福祉法の規定により、都道府県・市町村等の地方公共団体のほかは、社会福祉法人に限られる。②できればもう少し多くつくりたいというのが本音であるが、今内示を受けているのが2カ所である。将来的にはどうなるかはわからないが、現在では、施設は必要だと考えている。

今井 家で介護している方は、大変である。行政は予算が決まってからも、なかなか話が進まないという声も聞かれるので、できるだけ早く、この事業に取り組んでいただきたい。

教育の充実について公約実現のための対策は何か！

○市長の公約○人事異動○教育問題(学校事務の共同実施)○男女共同参画



福士 恵美子 議員

「ルール」と「モラル」を守る教育について

福士 幼児教育、学校教育、特に家庭教育には力を入れていきたいと述べていたが、公約実現のためにどのような対策を講じ、押し進めるのか。

市長 市民と一緒にやって幼年期の基本的なしつけを身につける幼児教育の重要性と家庭教育の充実が必要であると思っている。青少年健全育成事業、学校支援地域本部事業等を通じて、学校、地



域、家庭が一緒になって守り育てる環境づくりを進めていきたい。

人事異動の基本的な考え方

福士 ①今年の予定退職者数と新採用者数。②適材適所や在籍年数を考慮し、若いうちにいろんな部署を異動しながら知識と経験を豊かにし、部下に信頼される管理職になっていただきたい。また業務量が多く疲れたり代休さえもとれない部署があったりしないように配慮すべきと思うが、考え方を伺う。

市長 ①平成21年度の予定退職者は定年退職12名、勸奨退職等6名の計18名。新採用は一般職3名、消防職2名である。②今回は、職員の希望をとらないが、来年度以降検討したいと思う。②合併以来一度も異動していない職員を主な対象としたい。職員配

置には十分考慮し、接客マナーなどの研修等も分行的、資質向上に努めたい。

女性の登用について

福士 ①各種審議会や委員会等に占める女性の登用率はどのくらいか。②女性の登用率が上がったとしても、「充て職」としていろんな委員等を兼務している場合が多いのでは、幅広い方々からの意見ではないと思うが、市の考え方を示せ。

市長 ①国32.4%、県39.4%、平川市24.7%で、県内市町村平均では19.9%。②当市では、女性委員の構成率30%以上を目標とし、積極的に選任に努めているが、関連する団体の代表者をお願いすることが多く、複数の委員を兼務している方もいらつしやる。今後は、団体の長にこだわらず、選考方法を工夫し、幅広い方からの意見を参考にしながら市政に反映させていきたい。

できるだけ早く旧平川病院の建物と土地の有効活用を！

○2008年消防自動車衝突事故○旧平川病院



齋藤 剛 議員

2008年の消防自動車衝突事故について

齋藤 昨年(2007年)の5月の訴状から、平川市は弁護士と相談して反訴したと聞いている。報道はあるが、市側の説明はない。反訴中なので、答えられないのもわかるが、市の対応は、今後どのようにするつもりかお尋ねする。



写真は事故現場。手前から奥に向かって消防自動車が交差点に侵入し、相手方は写真の右側から左側へ進行した。

市長 既に裁判は結審し、

3月29日に、判決の言い渡しがあるものと思われる。過失割合がどのように判断されるのかが、今の課題であり、控訴するかどうかは、弁護士とも相談し、判断する考えである。

齋藤 できるならば、消防団員の方への心の使い方にも必要ではないかと思う。全国の消防団員は、気にしているかも知れない。道路交通法第70条にあるように、(交差点で)徐行したら、そのほかの

車が道を譲り進路を妨げないよう、皆さんが気をつけるようにしていただければ、消防車も現場にスムーズに行って活躍できると思う。

市旧平川病院の建物と土地について

齋藤 今までも何度となく市所有地を有効活用するように一般質問してきたが、欲しい人に活用してもらい固定資産税の納付に変えることはできないものか。

市長 平川診療所との関係もあり、すぐ売却するということは現状としてできないという状況である。総合的に判断しても、検討しながら、できるだけ早く何とかしたいと考えている。

齋藤 毎年、時がたればたつほど解体する費用が高くなるので、早めに皆さんで相談して、何とかしていただきたい。少子化対策としても、若い夫婦に分譲するような形を考えてもいいのではなか。平川診療所事務長 それらを含めて副市長、部長会議等で詰めて、できるだけ早く対処したいと思っている。

子育て世代が安心して住める乳幼児医療費の窓口無料化の実現を！

○観光(グリーン・ツーリズム、東北新幹線全線開通) ○介護基盤緊急整備特別対策事業 ○生活保護行政 ○乳幼児医療の現物給付



齋藤 律子 議員

観光行政

齋藤 ①農業と観光の推進を掲げており、「3つの地域の特性を生かしたグリーン・ツーリズムを推し進め観光ネットワークづくりに務める」とあるが、内容について。②新幹線対策の予算が盛り込まれているが、どのように売り出すのか。

市長 ①合併前の各地域の観光資源や特性を生かしながら連携できればグリーン・ツーリズムは今以上に発展すると考えている。ホームページで各地域の観光情報を得ることができるよう再構築を行う。②新幹線対策協議会を設置し、平川市の魅力ある資源をいかにPRしていくか、観光客誘致への対策を協議していきたい。

齋藤 2カ所の介護施設整備は、すでに地域等は決まっているのか。市民生活部長 今の段階は、平川市として、特別養護老人ホームのベッド数が欲しいと29床の2カ所分について県を通して国に手を挙げ予算化したもので、地域などの話は、これからの作業となる。

介護基盤緊急整備特別対策事業

齋藤 現段階では、介護保険料4段階の基本額が4960円である。2カ所の施設整備をすることで、平成23年度までは変わらないと思うが、第5期事業計画が始まる平成24年度からの保険料は幾らになるのか。

市長 現在の状況から、給付の自然増加と2施設の影響額を合わせて5500円から5600円程度と見込んでいる。

齋藤 現物支給の対応については、今までも医師会を通して努力してきたが、医療機関の理解と協力がなければやれないので、医療機関に向いて協力をお願いしていきたいと考えている。



乳幼児医療費の窓口負担の無料化を

齋藤 現物給付の問題は、国民健康保険の国保負担

請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長（氏名） 殿

⑨

請願（陳情）者 住 所
氏 名

紹介議員 氏 名

⑨

〇〇〇に関する請願（陳情）書

【請願（陳情）の要旨】

【理 由】

みんなで徹底しよう 「三ない運動」

政治家は有権者に寄附を

贈らない！

有権者は政治家に寄附を

求めない！

政治家から有権者への寄附は

受けとらない！

政治家が選挙区内の人に、お金や物をおくることは法律で禁止されています。違反すると処罰されます。

また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。



おわびと訂正

ひらかわ市議会だより第17号（平成22年3月15日発行）

3ページ、上から5段目【委員会質疑】問 尾上蔵保存利活用促進会に対する指定管理料がゼロ円であるが、問題はないのか。」の答弁が、協議の内容を説明したように受けとめられる文章となっていました。会の運営状況を説明しているもので、協議の内容ではありません。要約において、誤解を招く表現となったことをおわびいたします。

＊ 議会の動き ＊

平成22年

- | | | | |
|--------|--------------------------------------|-----|-------------------------------------|
| 3月1日 | 平成21年度青森県立尾上総合高等学校卒業証書授与式に議長出席 | 〃日 | 長尾忠行氏青森県議会議長就任祝賀会に議長ほか出席 |
| 〃日 | 平成21年度青森県立柏木農業高等学校卒業証書授与式及び祝賀会に副議長出席 | 8日 | 平川市連合PTA平成22年度定期総会に議長出席 |
| 3日 | 議会広報特別委員会 | 12日 | 平成22年度南黒食品衛生協会定時総会並びに懇親会に議長出席 |
| 4日 | 議会運営委員会 | 14日 | 平成22年度(社)平川市シルバー人材センター通常総会に議長出席 |
| 9日 | 平成21年度平川市観光協会総会に副議長出席 | 〃日 | 碓ヶ岡地域活性化推進協議会総会に議長ほか出席 |
| 10日 | 平成21年度ねぶた実行委員会定時総会に議長出席 | 16日 | ごみゼロ市民大会に議長ほか出席 |
| 13日 | 平成21年度平川市連合婦人会総会開催に議長ほか出席 | 17日 | 平成22年度平川市明るい選挙推進協議会総会に副議長出席 |
| 〃日 | 青森県農業経営士認定祝賀会に議長出席 | 19日 | 平成22年度青森県市議会議長会第1回定期総会に議長、副議長、局長出席 |
| 14日 | 緑青園1・2・3月期誕生会及びボランティア感謝と交流の集いに議長ほか出席 | 21日 | 議会広報特別委員会 |
| 17日 | 黒石記者クラブ会員歓送迎会に議長出席 | 22日 | 「白岩まつり2010」開会式に議長ほか出席 |
| 28日 | 平川市消防団出初式に議長ほか出席 | 〃日 | 平川市交通安全協会定時総会に議長出席 |
| 4月2日 | 「産直センターひらか」リニューアルオープンセレモニーに議長出席 | 25日 | 青森県選出国会議員との懇談会に議長、局長出席(東京都) |
| 〃日 | 青森県議会議長来庁 議長、副議長出席 | 26日 | 全国市議会議長会第86回定期総会に議長、局長出席(東京都) |
| 〃日 | 全員協議会 | 〃日 | 第33回黒石警察友の会通常総会に総務企画常任委員会委員長出席(黒石市) |
| 6日 | 平川市老人クラブ連合会総会に副議長出席 | 27日 | 天皇陛下拝謁に議長出席(東京都) |
| 〃日 | 平成22年度(財)青森県消防協会南黒支部通常総会に議長出席 | 〃日 | 平川市商工会第1回通常総会懇親会に副議長出席 |
| 15～16日 | 第62回東北市議会議長会定期総会に副議長、事務局長出席(福島県) | 28日 | 平成22年度平川市建設協会通常総会懇親会に副議長出席 |
| 17日 | 平川市文化協会第5回定期総会に議長出席 | 〃日 | 有限会社おのえ企画第21期定時社員総会に建設経済常任委員長出席 |
| 18日 | 平川市子ども会育成協議会第4回定期総会に議長出席 | | |
| 20日 | 身体障害者福祉会総会に議長出席 | | |
| 〃日 | 平川市納税貯蓄組合連合総会に議長出席 | | |
| 21日 | 平川市交通安全母の会第4回総会に議長出席 | | |
| 24日 | 志賀坊山野草まつり2010に議長ほか出席 | | |
| 〃日 | 平川市読書推進運動協議会第5回総会に議長出席 | | |
| 26日 | 青森県市議会議長会事務局長会議に局長出席(青森市) | | |
| 29日 | 平川市遺族会総会に議長出席 | | |
| 〃日 | 第29回おのえ花と植木まつりに議長ほか出席 | | |
| 30日 | 平成22年度青少年育成平川市民会議総会に副議長ほか出席 | | |
| 5月3日 | 猿賀神社「崇敬会大祭」に議長ほか出席 | | |
| 5日 | 平川市子どもフェスティバルに議長出席 | | |



編集室から

▼一生懸命と一所懸命
どちらも同じような意味だが、「一所」の方が歴史が古いようだ。封建時代にまで遡り、与えられた土地で一心にがんばり、守り生き貫く、というこころらしい。

▼「一生」の方はいつも常にかんばっているような印象があるので私は、その時々、その時々、と頭と身体を目いっぱい使ってガンバルという意味で「二所」の字の方をよく使っている。やる時は徹底的にやる。休む時は休む。人はリラククスすることが大切だと思います。でもそれが人の前ではなかなか難しいんですけどね。

▼さて、今号を皆さんが目にする頃ワールドカップ南ア大会、カメルーン戦が終わっているはず。胸に日の丸を付けた選ばれしサムライ達の、懸命ながんばりに期待をしています。

(佐々木利正)